

## 入 選

水について考える

筑西市立下館中学校

二年 佐藤 史 夏

私たち生き物にとって、水はとても大切で身近にあるものです。身近にある川や湖、海などの水質が近年悪化しています。悪化が進みすぎると、私たち生き物が生きて行くことができなくなってしまいます。そのようになってしまわないように、水質改善のために私たちにできることはどのような事でしょうか。

まず、私たちができることの一つとして、水を出したままにしないことです。水を出したまま、手を洗ったり、うがいをしたり、食器等を洗ったり、その他のさまざまなことに水を使って、水を止めないでいると汚れる水の量が多くなってしまいます。汚れる水が多いと、その水をきれいにするために工場

の機械を動かし、その工場から出る二酸化炭素の一部が地球温暖化に影響をおよぼすかも知れません。そのようにならないためにも、水を使いすぎないで、汚れる水の量を少なくして行くことがとても大切です。私たちができることの二つ目は、食器について油汚れなどをそのまま洗わずに、ティッシュペーパーやキッチンペーパーで拭き取ってから洗うことです。そのようにすることで、水の汚れをおさえることができ、スポンジもあまり汚れなくなります。これはまさに、一石二鳥です。三つ目は、洗いをしすぎないことです。きれいにしたくて、洗いをたくさん使っても汚れを落とせる量は変わらないため、たくさん洗いを使ったからと言って、想像以上になるわけではなく、かえって水を汚すことになってしまいます。その汚れた水をきれいにするために時間とお金と機械を使います。汚れている水の量が多ければ多いほど、時間とお金を使い、機械からは二酸化炭素がでます。水の汚れが少なければ、きれいにするためにかける時間やお金を減らすことができます。四つ目は、川や湖、海などの近くに、看

板を立てて呼びかけることです。呼びかけることで、少しは人々の意識も高まって水についての考えや意見が深まると思います。

次に下水処理の役割は、どのようなものでしょうか。私が考える下水処理の役割は、下水を処理して、水をきれいにすることだと思います。なぜなら、下水を処理しないで、そのまま川や海に流してしまつたら、川や海が汚れ、そこに生息する生き物が生息できず、数が減ってしまつたり絶滅してしまつからです。また、川や海を生息地にする生き物の他に、私たちにも悪影響があると思います。下水処理をしていないと言うことは、病原菌やウイルスなど衛生的にも良くないので、病気やウイルスにかかつてしまいます。自然の生態や私たちの健康を守ることが下水処理の大切な役割だと思います。

私たちが暮らす地球は、水の惑星と呼ばれていますが、その水は無限にあるわけではなく、限りがあります。この地球と言う星に生息する生き物のほとんどが、生きて行くには、水を必要として生きています。生きる上で、かかすことができず、限りのあ

る水だからこそ今よりも大切にしなければいけません。限りのある水を、これからどのようにして扱うかによって、生き物全ての未来と地球の未来が決まるのではないかなと思います。私たちの行動によって、未来は変えることができますと信じています。今の私たちができることは、正しい行動をとり、水を大切にすることです。全ての生き物が生活しやすい世界をつくるには、一人一人が協力し、水の大切さを子孫に語り継いで行くことが大切だと思います。私は、これからも水の大切さをよく考えて生活したいです。誰か一人の正しい行動、考えが世界中の人々に波紋のように広がって、誰もが生活しやすい世界になってほしいというのが私の願いです。